

聖徳太子から
聖武天皇へ



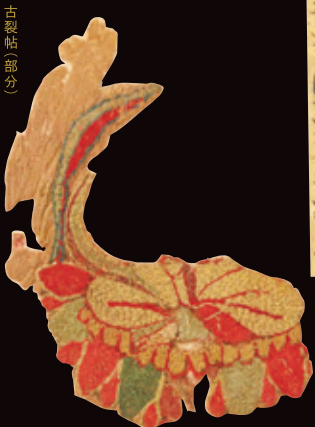
古裂帖(部分)

いにしえ



聖徳太子摂政像(部分)
室町時代

木地螺鈿鳳凰文飾劍拵
江戸時代



古裂帖(部分)

天皇牙國夢茶羅浦佛



四聖御影(部分)
室町時代

あこが

香雪美術館
Kosetsu Museum of Art



菩薩半跏思惟像
飛鳥時代もしくは朝鮮・三国時代

2020年 10 / 31 土 — 12 / 13 日

休館日: 月曜日 ※ただし11月23日月祝は開館、24日(火)は休館
開館: 午前10時〜午後5時(入館午後4時30分まで)
入館料: 一般800(600)円、高大生500(400)円、中学生以下無料 ※(内は20名以上の団体料金
主催: 公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

聖徳太子と聖武天皇は、

日本仏教の興隆に貢献しました。

聖徳太子は宗派や時代を問わず

信仰と尊崇の対象であり続けたため、

太子の功績を偲ぶさまざまな美術品が生まれました。聖武天皇は聖徳太子の教えを受け継ぎ、仏教の発展に大きく寄与しました。本展では、二人にまつわる作品とともに、古代に思いを馳せて近代に作られた作品、

大正から昭和時代初期にかけて開催された、飛鳥・天平時代の文化に関する展覧会の資料など、約40点を展示します。

この企画展は、中之島香雪美術館の特別展「聖徳太子―時空をつなぐものがたり―」と関連しています。

いにしえ あこが 古に憧れて 聖徳太子から 聖武天皇へ



1



2



3

- 1 繡仏裂 飛鳥時代 | 天人と火焰宝珠を刺繍で表している。未だに鮮やかな色系が確認できる。
- 2 聖徳太子撰政像 室町時代 | 朱の袍を着る。太子の遺徳を称賛する法要・聖聖会の本尊草か。
- 3 四聖御影 室町時代 | 聖武天皇や行基など、奈良・東大寺創建に関わる4人を描く。
- 4 大宝積経 巻第114 奈良時代 | 光明皇后が聖武天皇の御代安泰などを願って書写させた。



4



古裂帖の表紙。刺繍が美しく遺る。

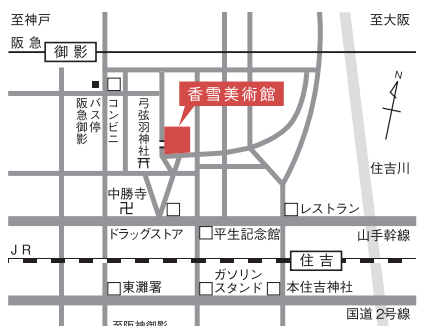


古裂帖 | 聖徳太子などにまつわる古い裂を天保13年(1842)に奈良・法隆寺で集めて仕立てられた。

相互割引

本展と中之島香雪美術館「聖徳太子―時空をつなぐものがたり―」展の会期中、各会場受付にてチケット半券を提示すると、当日一般/高大生の入館料が100円引きになるお得な相互割引を実施します。(ほかの割引と併用できません)

中之島香雪美術館 展覧会 | 聖徳太子―時空をつなぐものがたり―
2020年10月31日(土)～12月13日(日)



[交通案内] 阪急「御影」駅南改札より東南へ徒歩5分
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分

香雪美術館

Kosetsu Museum of Art

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
Tel. 078-841-0652
<https://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage>